

掛川市図書館協議会議事録（案）

会議名	令和3年度第1回図書館協議会		
場所	掛川市立中央図書館 会議室B		
開催日時	令和3年6月3日(木) 午前10時30分から午前11時30分		
出席者	会長 鴻野元希	教育長 佐藤嘉晃	
	会長代理 福住久美子	館長 後藤晶子	
	委員 鈴木由加里	副館長 鬼澤勝人	
	委員 岡田 昇	主幹 名倉宏昭	
	委員 田中克美	中央図書係長 栗田和道	
	委員 戸塚ひろみ	大須賀図書係長 澤島由基乃	
	委員 荒木伊久美		
	委員 松下 由香		
	委員 沖 孝子		

1 開会

主幹

皆さん、こんにちは。

本日は、委員の皆さんにおかれましては、当協議会への出席をありがとうございます。

それでは、ただ今から、令和3年度第1回掛川市図書館協議会を開催いたします。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます中央図書館主幹兼管理係長の名倉でございます。スムーズな進行になりますよう努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

それでは、始めさせていただきます。

当協議会は、前委員の任期満了に伴い、令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間において、新たに委員の皆様へ委員を委嘱し、協議等をお願いするものです。

皆様には、先日当協議会委員への就任をお願いしましたところ、快くご承諾をいただき、誠にありがとうございました。

2 委嘱書の交付

主幹

今回委嘱させていただく委員の皆様は、次第の次の名簿のとおりです。

それでは、教育委員会を代表して、佐藤教育長より委嘱書を交付いたします。代表して鴻野委員にお渡しします。

3 教育長あいさつ

主幹

ここで、佐藤教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長

皆様改めてこんにちは、それこそ皆様お忙しい中だと思えます。また、コロナ禍の中お集まりいただきましてありがとうございます。日頃より掛川市の教育行政に関して、御尽力・お力添え・御協力をいただき誠にありがとうございます。それこそ任期満了改選により全委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきました。令和5年3月までとなりますが、どうぞ皆さんよろしくお願いいたしますと思います。

掛川市の状況ですが、特にコロナに関しては報道等で皆様ご承知かと思うのですが、連日全国

的に広がりがあったなかなか収束に向かわないところで、市内においても今も行政側でも緊張感をもっていろいろと事業にあたっております。特に教育委員会関係が今課題としているのは、こういうコロナ禍だからこそ新しい時代に向けて、未来に向けて、いろいろ変えていこう、チャレンジしようということで、実は昨年3月に市の総合計画が見直されて新しくスタートしたばかりですが、でもこのコロナの状況では今のままでは駄目だということで、前市長の松井市長がもう一度審議委員を集めてさらに先までしっかり見直しをしようということで、市の総合計画の柱となる事業については変えていきました。それを受けて教育委員会も教育大綱があってその下に人づくり構想というものがございます。教育大綱は市長が変わるということでもありましたので、市長が変わってから検討しようということでしたが、人づくり構想は子ども達のためにも待っているわけには行かないので、教育委員会で去年からどんどん検討をいたしまして、人づくり構想についても見直しを図っております。ただ変わらないのは何かというと、掛川市は昔から生涯学習を大事にしていた市ですので、その理念は大事なので、その中でも土台となるのは読書教育です。人づくり構想かけがわを見ると分かる通り、乳幼児から学校教育、社会教育と0歳から大人までがどういう風に成長していくのか、そのために市としてどういう施策が必要かということを打ち出しているわけですが、教育って視点で見た時の土台になっているのが実は図書館、読書教育です。そういったところは他の市ではない特徴的な人づくりということで、色々な所から視察が来られた時に私達も自信を持って紹介しているわけですが、そういった意味で図書館の在り方が非常に大事になります。学校ですと読書の方法です。内容もそうですけどそういった点が大事になってくるということで、いろんな所を見直しています。その中で、今非常に揺らいでいるのがデジタル化の中で、例えば教科書があと数年でデジタル化されると言われていますが、国も議論しているし、我々の方もどこまで進めていけばいいのか実際検討しています。時代の流れとしてはなかなか変えられない。もう10年後にはデジタル化されるのだろう、紙媒体の教科書はなくなってしまうなという中で、でもそれを上手に活用できる方法をしっかり工夫して生み出していかなければいけないということで、今先生方にご協力いただきながら知恵を絞っているという状況です。

この図書館の運営に関するもの、当市は3館ございますけれども、それぞれ特色のある運営はしておりますけれども、新しい時代デジタル化の流れの中で図書館の在り方ということも掛川市としてはどうするのか、そういった意味では皆様方から色々ご意見をいただきながら、この図書館運営についてしっかり考えて進めていきたいと思っております。そういった意味でこの図書館協議会は重要だと思っております。皆様からの忌憚のないご意見を伺いながら良い図書館運営をできるようにしたいので、皆様よろしくお願ひします。

4 会長及び会長職務代理者の選任

主幹

次に、協議会の会長及び会長職務代理者の選任に移ります。

名簿の裏面をご覧ください。

掛川市図書館条例施行規則第18条第2項の規定により、会長は、委員の互選により定めることになっております。

そこで、皆さんにお諮りいたします。どなたか、ご意見ございますか。

委員

引き続き鴻野委員にお願いしたいと思ひます。

主幹

ありがとうございます、ただいま鴻野委員を推薦するご意見がございましたが皆様いかがでしょうか

委員

異議なし

主幹

ありがとうございます。それでは鴻野委員に会長をお願いしたいと思います。

なお、会長が指名した委員の方に、会長職務代理者をお願いする慣例になっていますので、会長からご指名をお願いします。

会長

福住委員をお願いしたいと思います。

主幹

ありがとうございます。福住委員よろしくをお願いします。

鴻野会長様、職務代理者の福住様これからよろしくをお願いします。

会長あいさつ

主幹

それでは、ここで、鴻野会長より、ご挨拶をお願いいたします。

会長

改めまして会長に指名された鴻野でございます。よろしくお願いします。協議会も長くなってきたなか私自身が思った所に着地できないなあという状況の中で、先ほど教育長から指摘のありましたデジタル化がものすごい勢いで襲ってきているというか、それでまあ図書館はご承知のとおりいわゆるアナログをベースにしてそれぞれの人間の豊かな営みを支えている、そういう目標があると思いますが、私は今の小学生が一人1台メディアを持っていることを実感しています。というのも孫がちょうど小学生ですから、その処理速度の速さ、おそらく現場では先生方より早く処理ができる子どもができてしまっているのではないかと感じます。

先週子どもの読書活動を考える会でもデジタルアーカイブも含めてデジタル図書館の貸出について、全部は聞けなかったのですが、実際に具体的に書店さんがデジタルの貸出をしているということで、ちょっとカードを借りてやってみたのですが、便利でした。

ということで、もう待たなしの時間が来ているなということを感じました。それで今後アナログ対デジタルの戦いは止めたほうがいいかなと。むしろ統合してアナログの部分デジタルの部分との対立の図式はもう止めて、それを乗り越えて何か新しいものを模索したほうがより図書館が生き延びていく指針になるのではないかと最近つくづく感じています。

例えば、人件費とかスペースとかそういったものがいかにこの新しい時代に必要であるかもう一度洗いなおしていただいて、少なくとも文化活動というのは同じ行政のような費用対効果では測れないことを、私共何回も何回も言っているわけで、まあ教育も実は費用対効果で測っちゃうことができるみたいな発想があると思うのですが、市民の文化活動、生涯教育活動はただ単純に費用対効果では測れないということをもう一度考え直す必要があるかなと考えました。そのときにアナログ対デジタルとの戦いは無駄というかもっと知恵を出し合ってそれを乗り越えていくものを考えていくほうがいいのかなと思いましたので、この協議会での皆さんの意見を聞きながら新しい方向へ行けるようになるといいなと思います。皆様よろしくお願いします。

6 委員の紹介

各委員自己紹介

7 職員の紹介

職員自己紹介

報告事項

会長

報告事項を図書館側からお願いします。

主幹

それでは（１）令和２年度の事業報告から（３）のコロナ禍での県内市立図書館の運営について関連性がございますので、一括で説明させていただきます。

最初に１ページ資料１をご覧ください。主な事業のみ報告させていただきます。前回３月に報告させていただいたものを修正させていただいておりますので、よろしくお願いします。

共同事業の「こんにちはえほん」「こんにちはえほんもっと」は３１回ずつ１,８００人の参加がございました。定例行事では「えほんのへや」中央図書館では１０３回、３館それぞれ合計、括弧弧の保護者を含めまして７１９人の参加がございました。

企画行事の「図書館フェスティバル」では１０月２７日から１１月７日まで講座やイベントを行いまして合計３,９６０人の参加がございました。大須賀館の９月１９日から「ハロウィンの図書館」と１０月１７日からの図書館活動グループ主催イベントについては、入館者数にてしか換算していないことから空欄となっております。総合計といたしましては４,０００人を超える人数となりました。

郷土ゆかりの部屋の展示でございます。大東図書館では名品展、多士済々が６月下旬の予定で３月末２,３５２人の入館がありました。

ところどころにコロナ感染症対策のため中止との記載がありますが、年度の初めのものがございます。その後は事業実施に向けて特に講座関係では人数を縮小して開催いたしました。

よみかせ事業は参加を待ち望んでいる方ばかりではなくて、コロナ禍についての慎重派の皆さんもいらっしゃいました。ご報告をさせていただきます。

次に令和２年度の利用状況でございます。３ページをご覧ください。令和２年度の図書館統計資料でございます。委員の皆様には目をとおしていただいていると思いますが、要点だけ簡単に説明いたします。

一つ目の表、最近５カ年の蔵書数でございますが、令和２年度末の合計が６８０,０３６点でございます。内一般書が４０２,８３８点、児童書が２１５,９１５点、郷土資料が３７,６５２点、その他ＣＤとＤＶＤなどが２３,３９１点となっております。上段には３館合計の年齢別貸出利用者数、資料別の貸出点数がございますのでご覧ください。

４ページ５ページをご覧ください。コロナ禍の中で４月から６月中旬まで計画した事業を中止しましたが６月１９日からは読書室の椅子を各机１つにして開放しております。中央図書館についてのみ傾向をご紹介します。ご覧のとおり４月５月に比べまして６月からはすべて上向きの状態ですが入館者数はまだまだ昨年の同期と比べると３分の２程度でございます。貸出利用者数と貸出冊数とＢＭはほぼほぼ安定してきていることが伺われています。このことは３館についても同様の傾向となっております。

以上のとおり３月の図書館協議会でご報告させていただきましたが、年度末を迎えても傾向の変化はあまりありませんでした。入館者数は３０９,７２３人。令和元年度は４１６,３３４人でした。令和２年度につきましては令和元年度の７４.３％となっております。貸出利用者数は中央と大東の移動図書館を含めまして１９３,６５１人で、令和元年度は２１９,７６３人でした。令和２年度は令和元年度と比べまして８８.１％となっております。

６ページをご覧ください。市民一人あたりの数値を示してございます。図書冊数と貸出点数については市立図書館の平均値を超えておりますが、資料費決算額は平均値を下回っております。紙媒体の購入を確保することについてさらなる予算要求に努めて参りたいと思います。

続いて７ページ資料２をご覧ください。主な事業のみ報告します。協同事業であります「こんにちはえほん」「こんにちはえほん・もっと」と「パパママセミナー」は毎月３回と年間３回を計画しております。定期行事の「えほんのへや」等は３館それぞれで月２回程度を計画しております。企画行事の「図書館フェスティバル」は１０月下旬から１１月上旬まで多種の講座やイベントを行い大須賀館の１０月のハロウィンの図書館と、コロナ感染症対策を考慮して事業の充実を図りたいと思います。

次に９ページ資料３をご覧ください。令和３年４月１５日現在のものがございます。ＡＶ利用

は長時間滞在を防ぐ目的で×印が見受けられますが、それ以外はほぼほぼ○か△が示されております。当市につきましてはNo.20の業務になります。新聞雑誌閲覧の列に△印があります。椅子を一部減らしていることがございますので○に近い△ということをご理解いただきたいと思います。

関連しまして別紙の参考でございますが資料右上に第20版とあります。3月にお伝えした内容から変更等はありませんが、再確認です。図書館の利用制限についてのことでございます。第2項目の引き続き実施する利用制限等の(4)についてですが放送大学再視聴室については、12月1日より予約をすれば利用可能となっております。第3項目の対応措置については、館内掲示、ホームページ、ツイッター等で2月の中旬から周知しております。

施設管理のAI体温測定認証端末のFACEFOURでございますが、3館ともに閲覧室の入口付近に設置してございます。また閲覧室の換気対策として1日2回午前11時と午後3時に窓を開けるようにしています。今後につきましてもコロナの状況から県内の図書館の状況、市の対策本部や教育委員会の方針によりまして施設の運営に努力してまいりたいと思います。私からは以上です。

会長

ありがとうございます。この報告につきましてご質問等ございますでしょうか。

委員

資料3ページの資料別所蔵数ですが、郷土資料のみが85点マイナスになっていますが郷土資料は基本的に払出をしないということですけど、85減というと資料の汚損破損等で減ったのでしょうか。

係長

減になっているのは大須賀図書館の部分ですが、当図書館では郷土資料に県内の観光情報なども含めていて、その利用価値がなくなったものについて払出を行いました。紛らわしくなって申し訳ありませんでした。そのような形になっております。

会長

よろしいでしょうか。今の資料の1のところでございます。この1について他にご意見はございませんか。

まあ、コロナ禍ですので、数値がどうしてもこういう形になっているということはやむを得ないと思いますが、その中にあるだけでも頑張っているというか、それぞれ支えてくださっているというニュアンスを感じます。

資料2のほうはどうでしょうか。事業計画になりますけれど、従来、昨年と同じような行事を計画して実施するという形だと思います。まあコロナの進捗の具合によってはもう少し開放できる面もあるけれども、基本的な行事はこれっていうことですよ。よろしいですかね。

それでは資料3のほうを見てください比較になりますけれども、これは質問というとなかなか難しいですけども、まあ頑張っているということでしょうかね。実際にこういう報告に現れないのがレファレンスサービスですよ。実際に資料や書籍の問い合わせなんかが多分沢山の中に入っていて、貸出数には入っていないし、そういった職員の丁寧な対応も数値化はされてませんですけども、あったのではないかなというニュアンスを感じます。よろしいでしょうかね。

毎回言うようで申し訳ないのですけれどツイッターがほしい毎週更新されていますけれども相変わらずフォロワーがほとんどないといった状況で、せつかくPOPとか入口の様々な工夫がされていますが、なかなか一般市民に浸透しないなあということで、是非今後進歩してたくさんのフォロワーがあるような形になればいいかと思っておりますので、考えていただけたらと思います。

それでは報告はこれでよろしいですかね。

委員

資料3の新型コロナウイルスの対応一覧を見ているのですが掛川市はおはなし会4月15日付けで○と書いてあるのですが、私たちは2月の4週目からおはなし会をさせてもらえなかったのですが、どこかの館でやっていたということですかね。2月の4週目から6月いっぱいまでよみかせ会はここではやっておりません。毎週水曜日3時から4時までやっているおはなし会ができなかったのですが、おはなし会は○になっていますがどうでしょうか。

会長

こちらは令和3年のデータとなります。

委員

すいません。令和3年の4月の状態ですね。わかりました。勘違いです、すいません。

会長

令和3年の4月現在なものですから昨年度とはちょっと違うということですよ。

よろしいでしょうかね、確認も含めてその他にございませんか。

意見なし。

協議事項

会長

それでは次の協議事項に移りたいと思いますが、運営基本方針につきまして事務局のほうで説明してください。

主幹

それでは協議事項でございます。(1)運営基本方針から(2)開催予定につきまして、関連性がございますので一括で説明させていただきます。

資料4をご覧ください。この掛川市図書館基本方針は令和2年3月27日に策定されたものです。協議内容の要点でございますが、現内容についての見直しを、先ほど教育長さんからもありましたように、この基本方針についても考えていきたいということでございます。1点目は2ページ上段の第2次掛川市総合計画についてです。令和3年3月に基本構想の見直しがされまして令和3年度で基本計画の見直しがされます。それを受けて総合計画全体が見直されますので、具体的には第2次掛川市総合計画基本方針、基本構想ですね。ポストコロナ編令和3年3月版で策定されておりますので、その内容につきましては現状のこと例えばSDGsの推進等の変革の時代である。新型コロナウイルスの感染拡大をしている、社会の環境や経済状況、人々の生活や価値観の変化があります。格差の拡大や社会の分割、分断とされていることから、掛川市の20年後を見据えるということで、例えばポストコロナ時代の新しい生活様式の移行や地方分散の流れ、デジタル化の浸透といった環境の変化、SDGsやDXをより一層推進、地域内での人やモノが循環、誰一人取り残されない包括的な社会を目指します。さらに教育文化の関係ではデジタル技術と本物の体験による学びの機会の充実とあります。これらの内容を含めまして追記修正をしていきたいということでございます。

2点目は4ページをご覧ください。現状と課題の修正追記でございます。それから5ページ以降につきましては表の中ですこし古い年代のものになっていますので、令和2年度までのものを追記していきたいと考えております。

13ページ夜の図書館とありますが、コロナ禍のなかで夜の図書館につきましても、イベント事業の削減と見直しを図っていきたいということでございます。

それから15ページ電子図書館の追記を考えております、

さらには21ページでございます。前回の時に田中委員さんからもお話を頂きましたが、評価指数の見直しですね。上位法があつてのことで、お話をさせていただいておりますが、総合計画、人づくり構想等を合わせまして、上部の計画に沿って評価指標の見直しを行っていききたいと思

ます。

今の内容的な主なものをご説明させていただきましたが、2年前に当初出来上がったときにパブリックコメントをやって出来上がったものでございますので、内容の部分についての大枠は変わらず、今の状況を把握しながら事務局で案を作らせていただきたいと思います。それで9月12月2回3回目の協議会でより細かなご検討をとということでございますので、今日は流れについてご説明をさせていただきたいということでお願いします。

次に2の開催予定についてのごとでございますが、年間予定については先ほどのおりでございます。12月の視察については、西部地区で考えている視察先に磐田市立図書館とながふじ学府、それ以外のところがあれば、皆さんからご意見をと思いますが、中部地区につきましては牧之原市、島田市、焼津市で考えておるのですが、西部地区同様に何かいいところというご意見があればお話をいただきたいと思います。視察をすることで基本方針の見直しに役立つところがあるかということを含みまして関係事項とさせていただきます。説明は以上です

会長

はい、ありがとうございます。今回はこの具体的な基本方針についての、まあもし今この場でこれもちょっと付け足したほうがいいんじゃないかというところがあれば、出していただくという形でよろしいでしょうか。

これも、もう数年に渡って見直しをかけてきておりますので、まあどこかで皆さんも目していることだと思いますが、大きな流れとしては、先ほど教育長さんからもふれられましたけれども、教育大綱の中でも図書館の位置づけが非常にはっきりとしていることと、社会教育も含めてここの図書館の教育が市民の基礎になっているよとのお話でありますので、その体制は変わっていかないのかなと思っています。

全体を見てこれを検討してくれたらいいかなってことでいいですか。ここでは。急に振られても難しいとも思いますが。次回の検討事項ということですから、ここでは意見を出していただくということでよろしいですか。何か要望事項を含めてあったらお願いしたいです。なお会議は60分を目途に打ち切りたいと思いますので、そういう点でも意見がございましたらどんどん出していただきたいことと、今この場で思いつかなくても事務局へ伝えることは可能ですので、よろしいでしょうか。何かありますか。

私のほうから一言ですね、資料の予算の問題もあると思いますが、今デジタル資料とかありますけれども、アナログの本を購入する資金をきちんと議会のほうでも予算化していただけたらなと思います。それにつきましてただお金を要求するだけでは、なかなか納得がいかないの、やっぱり具体的に図書活動とか図書館の活動が市民にこのように還元されているという具体的な例をあげたらどうかと思いました。今、一人頭の68万冊ですね、一人頭の数というのが5、6冊強ですね。具体的に市民がこれを活用してそれぞれ生活の糧、心の糧にしているのだということとそういうものがあると説明しやすいなとちょっと思いました。子どもがいるとどんどんコロナ禍で大変だからちょっと図書費削るよみたいな話になって、もっともだろうと言われてしまうと困るので、そこだけちょっと例があると市民が図書館大好きで来てますよ、私の生活は図書館に支えられてますよ等の言葉を集めて、図書館応援隊になるような文集ができるのかなということも思ったりしているのですが、何かありますか。

ちなみにこの近くの御前崎の図書館は購入費1番全県で1番くらいのお金がかかっているのですが、何かあるとすぐカットされてしまうという話をこの前聞いたのですが、掛川は地道にきちんとやっていますので、全体の金額はともかくとして市民のニーズに応じていることを、どっかできちんと出したほうがいいと思います。それがいい方法があればということですが、BMなんかはいいですね。ほとんどこういうことがあっても変わっていない。資料の量も変わっていないですし、今のところBMは基本的に小学校に行ってますよね、公民館とかはありますか。他市では公民館に行こうってのがあったりして、そういったものをお金がかかってしまって大変だと思いますが、それも遠くの方がこちらに来るって点でいうと、行くっていうのも一つの方法だと思います。

主幹

ひとつはホームタウン制度については通年程度を行っておるのですが、それについて充実を図ることは関係してくると思うのですが、やっぱりお金のかかることですので、一気にということはできないですけど、お願いは毎年させていただいているということではございます。

会長

もう一つ、自分ばかりが発言して申し訳ないですが、国会図書館のデジタルデータの閲覧が可能になっていますよね。昨年1年間の利用者数とか具体的にしてみるとあまりないと思うのですが、相当いいシステムでこれを市民に知っていただくというのが必要なと思うので、その宣伝というのがあまり無かったので、これはお金がかからないものなのでやったらどうか、特に国会図書館のデータをダウンロードできて印刷ができる。これは郷土史家の方々などは便利だな、わざわざ今まで行っていたのがこちらである程度できて、そのシステムが図書館に備わっていることを、もっと市民の皆様を知る機会があるといいかなと思いました。その辺も考えていただけたらと思います。

委員

それこそおはなし会は熱心にやってらっしゃる方々が大勢いらっしゃいますよね。保護者の声とか参加した人たちの声、その人たちの声を紹介したり、関わった人たちの声をもっと皆さんに伝わってくるといいなと思いました。けっこう参加者が大勢来てますよね。そういう人たちがこの会があって良かった、この本に出合えてよかったみたいな声が伝わってくると本の貸出にもつながってくるのかなと思いました。

館長

説明いたします。今年大須賀図書館が30周年記念、中央図書館が20周年記念、来年大東図書館が15周年記念を迎えます。今コロナのことがありまして、いろいろな大きな講演会ができない状況になりまして、じゃあこの周年記念をどうしようとか今考えている段階です。ちょうど今月の1日が中央図書館の開館日でした。7月20日が大須賀図書館の誕生日になります。ちょっと遅れてしまうので遅れついでと大須賀大東がちょっと早くなるけど3館一緒にお誕生日会をやるかというふうに考えています。その時にそれぞれの図書館の思い出とか読書の関りとかそういったものを市民から募って、図書館はこんな風に今までかかわってきたよとか、図書館あって良かったねという意見が聞けたら何かそういったものを掲示するのと、あと図書館の今までの様々な歴史とかいうものと一緒に展示とか何か発表できたらいいねというような案として今考えております。そういったところで皆さんから図書館の関わりを市のほうにも伝えていける方向の一つになるのかなというふうに考えております。

先程公民館をとということでしたが、掛川は生涯学習センターということになって公民館というものはありません。大東の地区には北公民館と千浜の農村改善センターが公民館施設になっておりまして、そこには大東図書館の移動図書館が行っております。そのため、ですのでまったく行っていない公民館活動のところには配本していないということではありません。ですので、今までは考えて現在ご意見いただいているようなことを、私が図書館司書として育ってきて図書館に対しての思いがありつつもこういう立場になったので、やりたいことをすごく考えていますが、一度にいろいろなことはできないので、段階を追っていろいろやっていきたいことを考えて、職員に宿題を出したり、こういうことはできないかとか言ったりとかしています。具体的になりましたら皆様にもご報告とかご相談をさせていただきたいと思います。

会長

ありがとうございました。心強いお言葉です。

委員

思いつきました。すいません先ほど各委員さんからもっとPRしたほうがってことでしたが、

実は私が学童保育に関わったり、うちの息子が高齢者施設で働いている関係で、団体貸出とかをしていただいています。息子が言うには園芸の本とか将棋の本とかを団体貸出で借りていて、こういう本は施設では購入ができないので、限られた人ではありますが、読んでいるよつていことを聞きました。去年も今までの「こどもとよかんまつり」の今までの写真を並べたときに、やつてい私たちもこんなことやつていたのだと思ひました。そこで、子ども関係の掲示はいろいろなところでもPRされるのですが、例へば老人施設なり公民館とか子どもではあります学童保育で子どもが読んでいる写真とかそういうものを出せれば、図書館がもしなかったら行かないことなので、図書館の存在意義の一つを示すこともいいのかなとふと思ひました。確かに老人ホームに図書館がどうやつて関わっているのだといふことは全く一般市民に見えてないので、来てくれてありがたいなとか、そういうこともちょっとあるかなと思ひました。思ひ付きでごめんなさい。

会長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。この際こういうにしたらどうかみたいのがあつたら。あれから 20 年でこの図書館を建てる時の建設準備委員といふもの私がしてました。そのときいろいろな図書館を見させていただいて、これを欲しいあれを欲しいといふてほとんどそれらを受け入れてくれたのですけれども、この会議室の利用が最初に予定していた時よりもうまく活用できてないかなと思ひます。あとはだいたいいいかなと思ひましたが。やつぱり先ほど館長さんが言われたように、市民の応援、図書館の応援をしたいとか図書館勝手連みたいのができて、先ほどの言葉とか色々なものを冊子にしたりとか、「図書館と私」みたいな作文コンクールにするとか、そういうものもいいかなと思ひました。

あといかがでしょうか、この際これを頼んでおこうといふものがあれば。

(委員)

よみきかせ会ひまわりが5月20日で40年になりました。なんかそういうものもコラボさせてもらえたら嬉しいなと思ひました。今、40年の冊子を作つておひまして、それが今月あと1週間ぐらいで刷り上がつてくる予定なので、館長さんにも一言書いていただいたりしてお世話になりましたけれども、また図書館のほうにも寄贈させていただくので、よみきかせ会ひまわり40年といふことでも冊子も皆様に貸し出すことができると思ひるので、また読んでみてください。よろしくおひねします。

(会長)

ありがとうございます。それぞれの思ひがあります。

以上のもので外につましても具体的に言へば事務局のほうへ教へていただければ、考へていただけるといふことですから、非常に足早でほとんど意見を言う間もなく申し訳なかつたですけど、量的に1時間で上げよといふことだったものから、だいたい私のほうとしては、終わりにしたいと思ひますがよろしいでしょうか。

それでは事務局にお返しします。

連絡事項

館長

事務局から2点ご報告させていただきます。先ほど視察を12月ごろに設定していると申しましたが、やはりコロナの状況から、いつもこの視察は子どもの読書活動推進委員と合同で行きますので、かなりの人数がバス1台で行くこととなります。また受け入れ側の状況もありますので、この辺はコロナの状況を見て、昨年同様中止もありえることをご承知いただきたいと思ひます。

主幹

それではみなさんありがとうございます。事務局から紹介したいことがありますのでご報告

させていただきます。

係長

追加の資料といたしまして、水色の冊子をお分けさせていただきました。本年3月に子どもの読書活動推進会議の「かけがわほんわかプラン」第4次計画ということで策定いたしましたのでご紹介いたします。これは5年ごとに掛川市の読書活動について計画を作ることで、第3次計画が令和3年3月に終了いたしましたので、4次計画を作りました。主な改訂点はSDGs持続可能な発展ということで、そういうことを入れました。それから先ほど来話題になっておりますデジタル化につきましても今後どのような形で取り組むかということに触れさせていただいております。目を通していただいて図書館の運営につきまして参考にしていただけたらと思います。お気づきの点がありましたら、担当の栗田までご意見をいただけたらこれからの活動に反映させていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

主幹

それでは次回でございますが9月を予定しておりますので、3館の様子もということで次回は須賀館を予定しております。また鴻野会長と相談して早めにみなさんにご通知させていただきますのでよろしくおねがいします。

以上をもちまして第1回図書館協議会を閉会したいと思います。ありがとうございました。

閉会